

今後の景気への懸念材料は

## 7割が税制(消費税アップ)と原油・原材料等価格上昇

「駆け込み需要」後の反動(影響)も・・・

- ★ 「当面の経営上の問題点(複数回答)」について、1位が「需要の停滞」の148社。2位が「原材料価格の上昇」の78社。「ニーズの変化への対応」が55社で3位。
- ★ 「4月以降、「駆け込み需要」後の反動(影響)についてどのように思われますか」について、最も多かったのが42.5%(96社)の「多少ある」。続いて「ほとんどない」27.0%(61社)、「大いにある」23.5%(53社)。「全くない」と回答したのはわずか7.1%(16社)。
- ★ 「平成26年度の景気への懸念材料」について、最も多かったのが37.6%(83社)の「税制(消費税アップ)」。続いて「原油・原材料等の価格上昇」の34.4%(76社)。大きく離れて「為替・株価」と「物価変動」の5.4%(12社)。

平成26年1~3月期 三次商工会議所管内(旧三次市) 景況調査【概要】

三次商工会議所

平成26年4月に実施した第96回三次商工会議所管内(旧三次市)景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内(旧三次市)の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が96回目。

市内の500事業所を抽出し、集計企業数は232社(小売業62社、卸売業28社、製造業32社、建設業55社、運輸・交通業19社、観光・サービス業36社)で回収率は46.4%。

### 【概況】

今期(1~3月)の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況D.Iは、全業種平均で▲7.0と、3ヶ月前の前回調査から6.2ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の3.0%、「やや好転」が24.8%で、逆に「やや悪化」が28.3%、「かなり悪化」が6.5%だった。同様に、売上D.Iも7.1ポイント悪化して▲3.0。採算D.Iも4.5ポイント悪化して▲18.2。原材料(商品)仕入価格は45.0から46.7と依然として高値で推移している。前期に比べ、すべてのD.I値が悪化し厳しい状況下ではあるが、そのような中でも3期続けて業況D.Iがマイナス1桁台というのは、平成6年の同時期以来、19年ぶりのこと。さらに、1~3月期という時期に限ってみると、平成2年の調査開始以来、2番目に高い数値(1番は平成2年1~3月期の0.8)。しかしながら、先行きについては▲39.9と大幅な悪化を予想。

今回事業所に対し、「消費税増税による駆け込み需要後の反動(影響)」について尋ねたところ、「多少ある」42.5%(96社)と「大いにある」23.5%(53社)をあわせ3分の2にあたる66%(149社)が反動(影響)があると回答。また、「平成26年度の景気への懸念材料」についても「税制(消費税アップ)」が37.6%(83社)と最も多く、続いて「原油・原材料等の価格上昇」が34.4%(76社)と、この2つで7割以上を占めた。価格への適正転嫁が難しい中、事業所の負担増や増税による消費者の消費マインドの低下など景気への悪影響を懸念する結果となった。

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

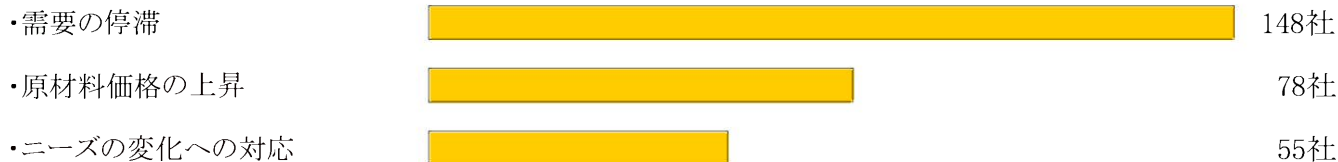
**業況**は、全業種合計で今期▲7.0。業種別では、製造業と建設業の2業種で改善。小売業、卸売業、運輸・交通業の3業種については、横ばいから若干の悪化程度だが、唯一、観光・サービス業が▲6.7→▲47.1と大幅な悪化。

**売上**は、全業種合計で今期▲3.0。業種別では、改善したのは建設業のみ。しかしながら、製造業と建設業、運輸・交通業の3業種は前回に続きプラスの値を記録。

**原材料(商品)仕入価格**は、全業種合計で今期46.7。運輸・交通業が66.7と飛び抜けてはいるが、すべての業種で依然として高値で推移しているように思われる。

**採算**は、全業種合計で今期▲18.2。業種別では、小売業のみが改善し、建設業と運輸・交通業が横ばい。業況同様、観光・サービス業が▲12.9→48.6と大幅悪化。

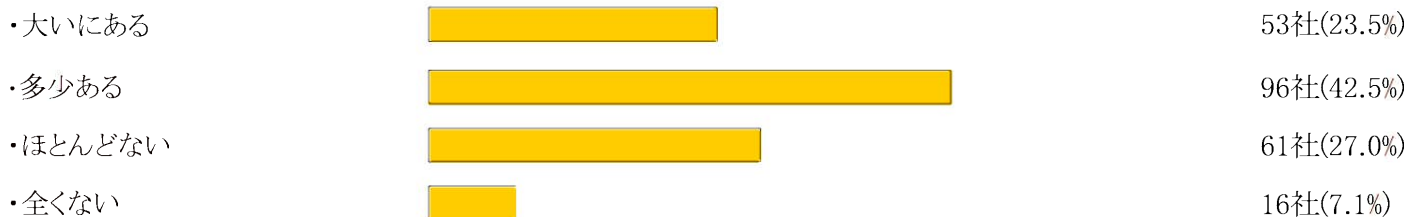
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



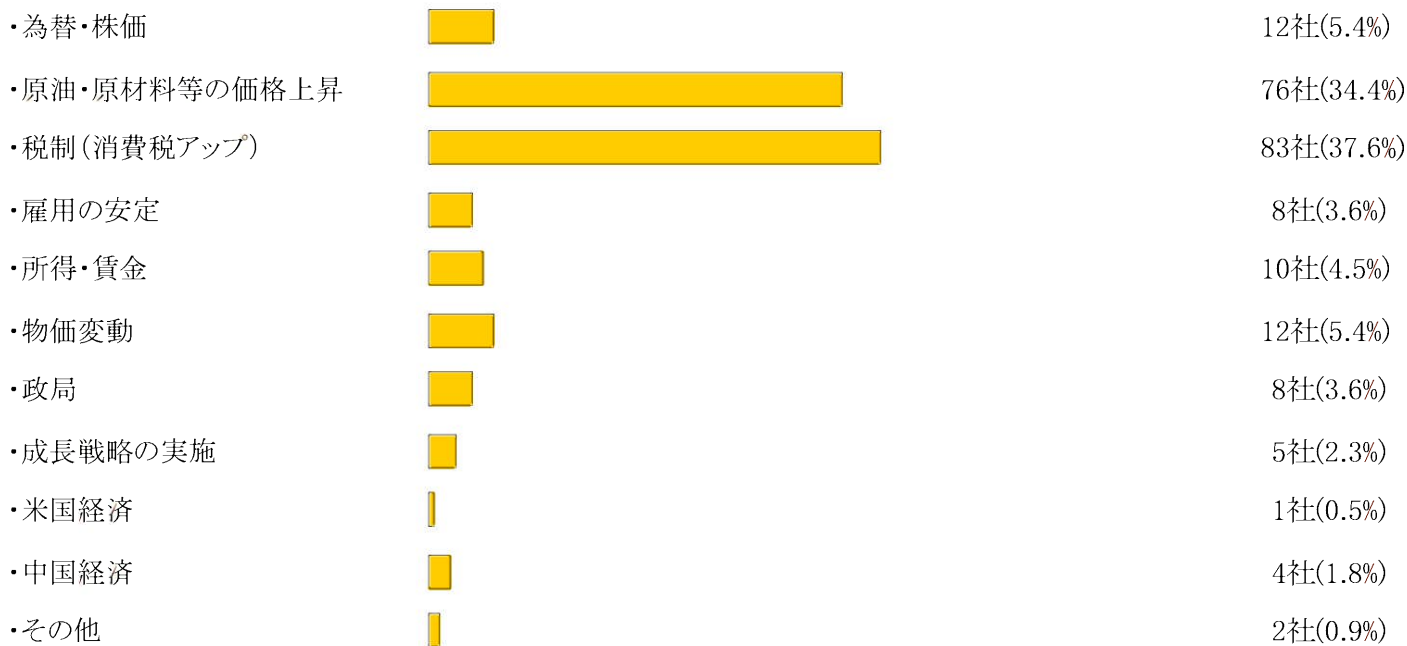
【4月1日から消費税が5%から8%にアップしますが、いわゆる「駆け込み需要」はありましたか？】



【4月以降、「駆け込み需要」後の反動(影響)についてどのように思われますか？】



【平成26年度の景気への懸念材料は？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 7.0	▲ 39.9
小売業	▲ 14.5	▲ 75.8
卸売業	▲ 7.1	▲ 7.1
製造業	6.3	▲ 50.0
建設業	14.5	▲ 35.8
運輸・交通	5.3	10.5
サービス業	▲ 47.1	▲ 26.5

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 3.0	▲ 40.5
小売業	▲ 8.2	▲ 73.8
卸売業	▲ 14.3	▲ 3.6
製造業	9.4	▲ 43.8
建設業	16.4	▲ 41.5
運輸・交通	10.5	5.3
サービス業	▲ 34.3	▲ 32.4

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

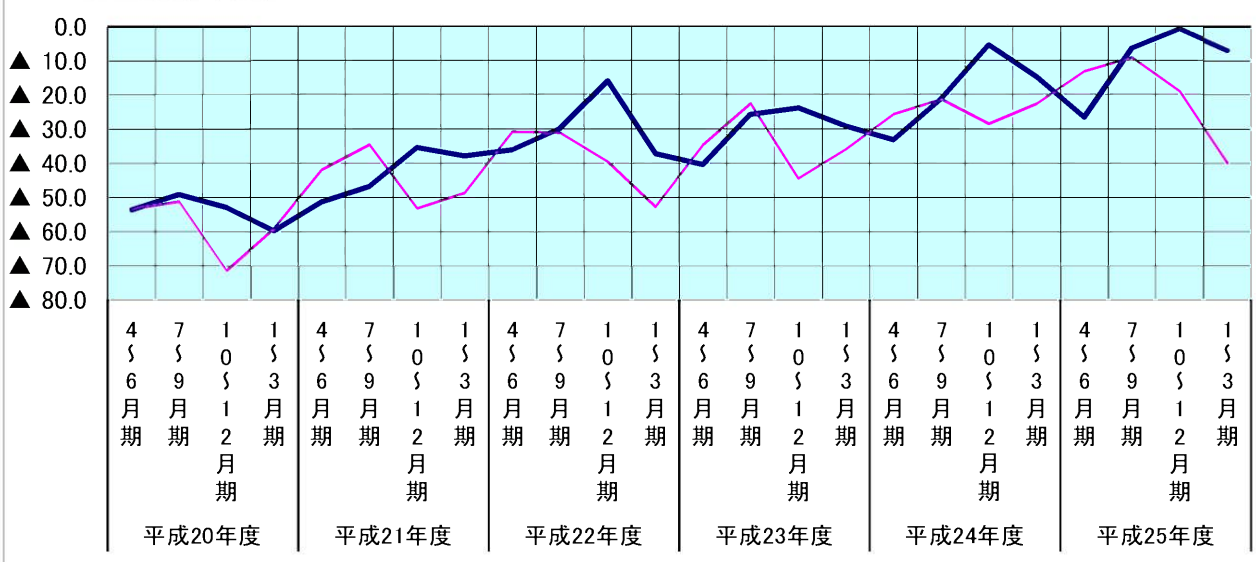
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 18.2	▲ 41.4
小売業	▲ 16.1	▲ 62.9
卸売業	▲ 28.6	▲ 10.7
製造業	▲ 18.8	▲ 43.8
建設業	▲ 1.8	▲ 49.1
運輸・交通	0.0	0.0
サービス業	▲ 48.6	▲ 36.4

(好転割合－悪化割合)

# 全業種

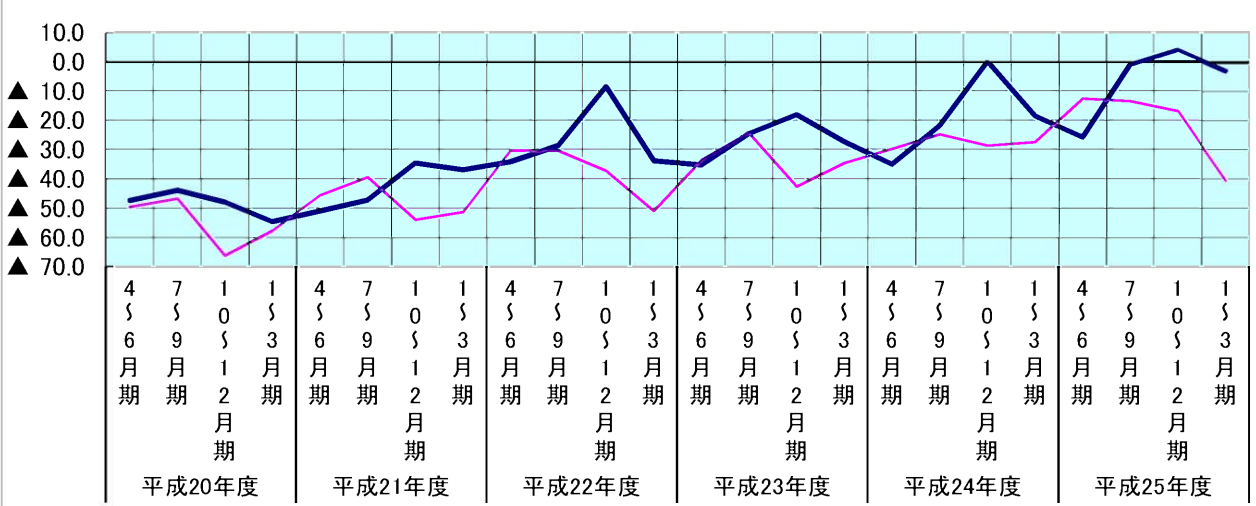
## 業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



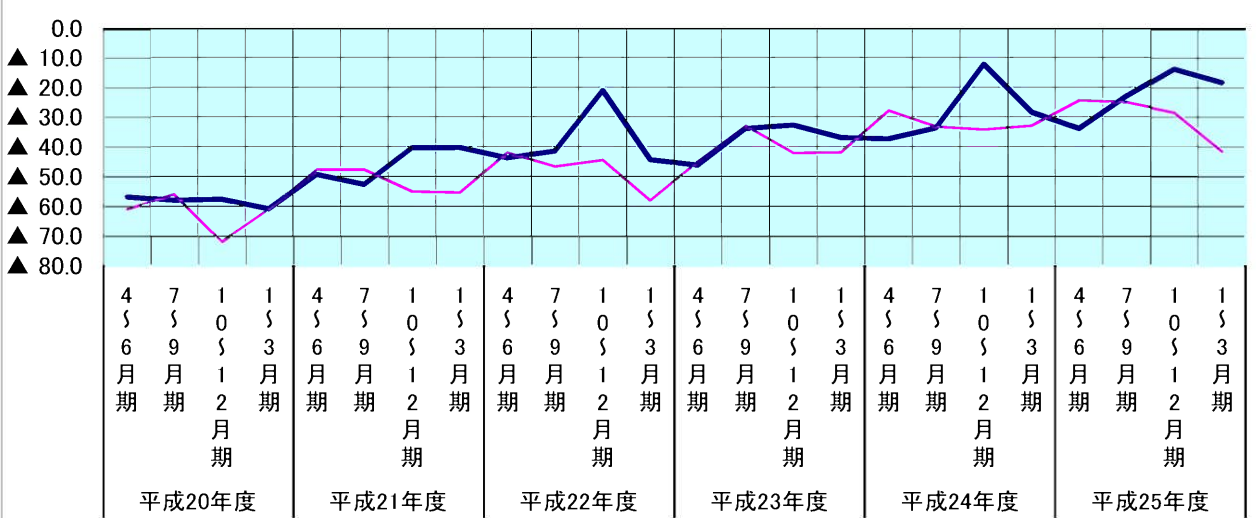
## 売上D.I.の推移

前期比 来期見通し



## 採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
卸 売 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
建 設 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
運 輸 ・ 交 通 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			

景気天気図の説明					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い